

工 事 経 歴 書

(建設工事の種類) 工事

注 文 者	元請又は下請の別	工 事 名	工事現場のある都道府県及び市区町村名	配置技術者氏名	請負代金の額		着工年月
					千円	千円	完成又は完成予定年月
					千円	千円	平成 年 月 平成 年 月
					千円	千円	平成 年 月 平成 年 月
					千円	千円	平成 年 月 平成 年 月
					千円	千円	平成 年 月 平成 年 月

合 計	件	千円	千円
-----	---	----	----

記載要領

- 1 この表は、法別表第一の上欄に掲げる建設工事の種類ごとに作成すること。
- 2 この表には、完成工事（申請をする日の直前1年間に完成した建設工事をいう。以下同じ。）を、記載された請負代金の額（工事進行基準を採用している場合において、当該工事進行基準が適用される完成工事については、5により括弧書で付記された完成工事高）の合計が、完成工事に係る請負代金の額（工事進行基準を採用している場合において、当該工事進行基準が適用される完成工事については、その完成工事高。5を除き、以下同じ。）の合計のおおむね7割を超えるところまで、請負代金の額の大きい順に記載し、それに続けて、主な未成工事（申請をする日の直前1年間に着工し、未だ完成していない主な建設工事をいう。）を同様に記載すること。ただし、令第1条の第2第1項に規定する建設工事については、10件を超えて記載することを要しない。
- 3 「元請又は下請の別」の欄は、元請と下請の別の記載に加え、共同企業体（JV）として行つた工事については、JVと付記すること。
- 4 「配置技術者氏名」の欄は、完成工事について、法第26条第1項又は第2項の規定により申請をする日の直前1年間に置かれた者の氏名をすべて記載すること。
- 5 「請負代金の額」の欄は、工事進行基準を採用している場合には、当該工事進行基準が適用される完成工事について、その完成工事高を括弧書で付記すること。
- 6 「請負代金の額」の欄は、次の表の（一）欄に掲げる建設工事についてこの表を作成する場合には、同表の（二）欄に掲げる略称を「うち（ ）」の括弧内に記入し、各工事ごとに同表の（三）欄に掲げる工事に該当する請負代金の額を記載すること。

（一）	（二）	（三）
土木一式工事	P C	プレストレストコンクリート工事
とび・土工・コンクリート工事	法面処理	法面処理工事
鋼構造物工事	鋼橋上部	鋼橋上部工事

- 7 「合計」の欄は、完成工事の件数の合計及び完成工事に係る請負代金の額の合計並びに6により「P C」、「法面処理」及び「鋼橋上部」について請負代金の額を区分して記載した額の合計を記載すること。
- 8 下請工事（下請負人として請け負つた建設工事をいう。）については、「注文者」の欄には当該下請工事の直接の注文者の商号又は名称を記載し、「工事名」の欄には当該下請工事の名称を記載すること。